

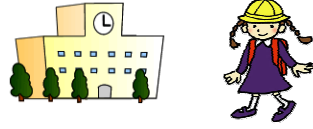
発達障がい児の早期療育の ビジネスモデル



発達わんぱく会
小田知宏

2010年12月1日

小学校2年生のNちゃん



地元の小学校に通う「普通」の女の子

言葉の遅れもなく、
見た感じは何も問題はなさそう



Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

2

Nちゃんは困っている



友達ができない



授業についていけない

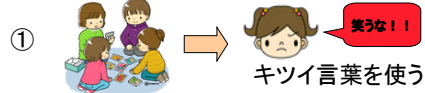


学校に行きたくない

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

3

苦手なところ



①

キツイ言葉を使う

②



思い込みが激しい

③

会話をすると、少し考えてから応える

④

おっちょこちょいで、詰めが甘い



Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

4

診断

・広汎性発達障害(知的障害を伴わない)

・自閉症の4つのタイプの「形式的な群」



Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

5

将来の最悪の可能性

・言葉が遅れ、勉強が遅れる

・いじめ

・不登校

・非行

・引きこもりやニートに繋がる



Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

6

早期発見・早期療育

- ・モノラップ克服のため、療育ツールを繰り返し行なうことで、パターンを覚えていく
- ・実行機能克服のため、「目標を確認して手順を立て、あきらめずに最後まで取り組み、できたかどうかを確認する」という一連の動作を繰り返し行う。
- ・人の気持ちを読み取るために、「これは楽しい気持ち」などと繰り返し教える。
- ・会話をするときには、大人が視覚的手掛かりを併用するようにする。



7

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

子どもの「6.3%」

- ◇ 日本:6.3%
小・中学校において、「知的発達に遅れはないものの学習面や行動面で著しい困難を示す」と担当教師が回答した児童生徒の割合
(平成14年文部科学省全国実態調査、対象生徒41,579人)
- ◇ アメリカ:16%
発達の遅れを持っている子供の割合(アメリカ小児科学会)
- ◇ フィンランド:20.5%
就学前に学習の一部で特別支援教育を受けた子供の割合(04年~05年)

参考:発達障害支援グランドデザインの提案(特別支援教育総合研究所編所)

8

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

浦安市の早期療育の現状

発達障害のある幼児:

約500人

* 文部科学省の発表した6.3%より試算

その内、療育を受けている幼児:

約50~100人

* 浦安市子ども発達センターに登録のある幼児278名のうち、手帳持たない子どもの概数

9

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

発達障がい児の療育が充足しない理由

理由1.

ニーズが潜在化 ⇒ 利用が進まない

気づかない/認めない 不足が問題化しない
今は困っていない

理由2.

コストが高い ⇒ 事業所が増えない

回転数が少ない 赤字経営

10

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

理由1. ニーズが潜在化

気づかない/認めない/今は困っていない



11

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.

理由2. コストが高い

回転数をあげて生産性単位を高めることで、質を落とさずにコストを下げることに繋がる。

- ・療育プログラムを500段階に系統化
- ・運営システムに業務改善プログラムを導入
- ・地域社会に密着
- ・療育サービスに特化(保育サービスを最小限に)

人・日の療育コスト	概算金額
従来の施設	25,000円
こころとことばの教室	8,000円

12

Copyright© 2010 Hattatsu-Wanpaku-kai. All rights reserved.